

【別表2】地区研修等支援事業開催状況

地区	と き	と ころ	参加人数	内容・効果等
札幌	H20/11/16	道民活動振興センター	70名	<p><b>札幌・石狩・後志・空知地区合同研修会</b></p> <p>1. 講演・実技「口腔衛生の理解と口腔ケアの方法や嚥下障害へのアプローチと予防」 講師：藤岡 妙子(平田口腔顎顔面外科腫瘍内科 がんヴィレッジ札幌 歯科衛生士)</p> <p>2. 講義・演習 「ホームヘルパーのためのメンタルヘルス対策」 講師：水谷 保幸 (福)北海道社会事業協会 岩内病院 院長)</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な内容であり参考になった。メンタルケアは肉體・頭脳・感情を休め孤独な自分を見つけることも、必要であると認識した。</li> <li>・電話での情報交換は時々あるが、同地区内でも殆ど会う機会無く、この研修会が唯一の情報交換・仲間意識を高めたりと交流機会の場を提供してくれた。</li> <li>・2つの講義共に、即、現場での実践及びサービスの資質向上につながる内容豊富な研修だった。</li> </ul>
	H21/2/20	道民活動振興センター	45名	<p>1. 講義「生活保護制度の理解」 講師：阿部 仁志 (札幌市保健福祉局総務部 保護指導課指導担当係長)</p>
石狩	H20/7/13	いきいきセンターわかくさ・保健センター	35名	<p>1. 講義・演習 「ホームヘルパーのためのメンタルヘルス対策」 講師：水谷 保幸 (福)北海道社会事業協会 岩内病院 院長)</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の調整に時間がかかり、講義時間が短くなったため、もう一度研修を希望する意見が出た。</li> <li>・自分自身を知ることや、自分のストレスに対して仕事と休みを切り替え心身ともに休むこと、など分かり易く講演していただいた。</li> </ul>
	札幌地区に同じ			
渡島	H20/10/4	七飯町文化センター	15名	<p>1. 講演 「当事者と接する時に大切にしている事」 講師：川村 敏明(浦河赤十字病院 医師)</p> <p>2. シンポジウム「家族との関係」 シンポジスト：べてるの家メンバー、和の会メンバー コーディネーター：高田医療ソーシャルワーカー まとめ：川村 敏明(浦河赤十字病院 医師)</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・べてるの家の当事者・関係医師・ソーシャルワーカーの発表から精神障害者の関わり方を理解する事ができた。</li> </ul>

地区	と き	と ころ	参加人数	内容・効果等
檜山	未実施			
後志	札幌地区に同じ			
空知	札幌地区に同じ			
上川	H21/2/22	特別養護老人ホーム誠徳園	21名	1. 演習「困難事例の検討」 講師：杉山 陽子 (東神楽町特別養護老人ホームアゼリアハイツ 生活相談係長)
留萌	未実施			
宗谷	未実施			
網走	未実施			
胆振	H21/3/15	苫小牧市民活動センター	62名	<b>日本介護福祉士会北海道支部日胆地区と共催</b> 1. 講演・演習「口から食べる生活を支援する介護とは」 ～摂食・嚥下障害を中心に～ 講師：梅安 秀樹(つがやす歯科医院 院長) 《効果》 ・ホームヘルパー、介護職に必要な嚥下のメカニズムを身体を通じて学ぶことができた。
日高	同上	同上	同上	同上
十勝	H20/11/16	とかちプラザ	37名	1. 講義・演習「事例検討を通してスキルアップ」 講師：飯山 明美 (本別町地域包括支援センター 所長補佐) 《効果》 ・参加メンバーの力量を高めることができる事例検討会のあり方を学ぶことができた。
釧路	H21/3/22	厚岸町社会福祉センター	41名	<b>釧路・根室地区合同研修会</b> 1. 講演 「新制度と今後のホームヘルパーのあり方について」 講師：力徳 キヨ子 (北海道ホームヘルプサービス協議会 会長) 2. 講演 「介護予防に生かせる視点 ～できるADLとしているADL～」 講師：瀬下 義正 (医療法人社団 田中医院 デイケアセンター さくら 管理者/作業療法士) 《効果》 ・報酬改定の時期ということで、会員の参加よりも非会員の参加が多かったが、当初の計画どおりの参加人数であった。
根室	同上	同上	同上	同上